

湖南高校だより

「100キロ超のそばの収穫を目指して！」

収穫に想いを馳せて そばの種まき実施



そば畑にて、そばの種まき終了後の集合写真
100キロ超を目指してみんなでガッツポーズ

今年度の蕎麦プロジェクトが開始されました。八月二日(金)、そばの種まきが行われました。

行立 学校
島野 県等
福南 高野
湖校 長
校訓
勉明 勤
聡協 助
実高 律
誠志 自

直近のスケジュール

- 9月13日(金) コミュニティ・スクールにおける就職希望者面接指導
- 10月 2日(水) 体育祭
- 10月 7日(月) 2年修学旅行(～10日)
- 10月 9日(水) 1・3年秋の遠足(～10日)
- 10月25日(金) そば・米収穫(城北合同)

球技大会

七月十八日(木)、球技大会を行いました。実施競技は例年通り、バドミントン・卓球・バレーボールの三種目です。午前は、バドミントンと卓球が行われました。今年度は三年生がクラスTシャツ、二年生がハチマキを準備し、一年生は試合前に円陣を組み、各学年気分十分に試合に臨みました。

午後、体育館にてバレーボール競技が行われました。生徒たちは日々の練習の成果を十分に発揮していました。バトミントンでは優勝したペア・チームが、バレーボールでは優勝したチームと教員チームが対戦し、大会一番の盛り上がりを見せました。最後球技大会を終えた三年生からは、「三年間の中で一番楽しい球技大会だった」という声もあり、最後の思い出を作ることができました。来年度の活躍も期待しています。



○競技結果
優勝 二年生
優 勝 二年生
第二位 二年生
第三位 一年生

○卓球競技
優勝 三年A
第二位 一年A
第三位 三年B
○バトミントン競技
優勝 三年A
第二位 二年B
第三位 三年B
○バレーボール競技
優勝 一年A
第二位 二年A
第三位 三年A

ピプリオバトル

今年のピプリオバトルでは一年生三名・二年生二名・三年生一名とスペ

シャルゲスト一名、計七名がおすすすめ本の紹介に挑戦しました。また、当日は学校運営協議会の方々も見学され、会場は熱気に包まれました。挑戦した六名の生徒は持ち時間の五分間を有意義に使い、本の魅力をたっぷり語りました。質疑応答の時間では、生徒や教員から多くの質問が寄せられました。そして今回のチャンプ本は、二年 影山康太くんが紹介した『聖域』(コムドットやまとKA DOKAWA)でした。



みなさんが大人になっても心に残るような素敵な一冊に出会えることを祈っています。

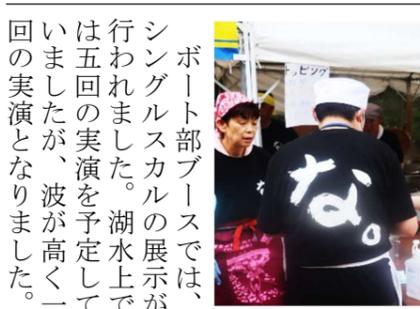


今回、民泊を受け入れてくださった、阿部様、宗形様をはじめ、地域の皆様にご挨拶を申し上げます。

「湖南高校そばファーム」に移動し、始めに、等間隔に並び、肥料まきを行いました。その後、そばの種まきを行いました。昨年度の反省から、まくそばの種を減らし、均等になるよう意識して取り組みました。天気が良く暑い中で作業でしたが、生徒たちは最後まで意気込みで行っていました。



今年度は、昨年収穫した一〇〇・五kg超えを目指し、地域の皆様とともに見守っていききたいと思います。



ポート部ブースでは、シングルスカルの展示が行われました。湖水上では五回の実演を予定していましたが、波が高く一回の実演となりました。

総合的な探究の時間では、つくる班に参加し、地域の方々のご指導により「ちまき」づくり挑戦しました。埼玉の生徒たちは、い草でちまきを縛る作業にも挑戦しました。

民泊先では農業体験のほか、スイーツについて探究している生徒のために「あんこ」づくりもご指導いただきました。このような体験を通じて、福島の地域社会に溶け込み、地元文化や生活をたっぷり堪能できたのではないのでしょうか。そして、生徒同士もお互いの理解を深め、友情を育むことができました。このころのコロナにも期待大です。今回このプロジェクトに参加した城北埼玉高校の皆さんからは、「数えればきりが無いほど湖南町の皆さんに優しく接していただき、とても充実した三日間を過ごすことができました。」「民泊でも自分たちのことを尊重していただき、おいしい食事も出していたので遠く離れた場所でも安心感がありました。」「も落ち着きました。」「みなさんがとても温かく接してくれて、楽しく過ごすことができました。ありがとうございました。」等の感想を述べていました。

七月九日(火)から十一日(木)の二泊三日の日程で、城北埼玉高校から二年生十名が、民泊体験で来町しました。プログラムをとおし、授業や課外活動で両校の生徒が積極的に交流する姿が見られました。

猪苗代子頭 菊池 由喜男、教諭 安田 知弘

七月二十日(土)に猪苗代湖館浜で行われた、「第五十七回湖まつり」に本校のそば部とポート部が参加しました。そば部ブースでは、中野生産組合と同窓会の皆様の御協力のもと、冷たいぶっかけそばを提供しました。また、本校生によるそば打ちの実演も行われ、過日行われた段位置認定者が自分たちの腕を披露しました。約四五〇食を準備しましたが、全て売り切ることができました。

民泊先では農業体験のほか、スイーツについて探究している生徒のために「あんこ」づくりもご指導いただきました。このような体験を通じて、福島の地域社会に溶け込み、地元文化や生活をたっぷり堪能できたのではないのでしょうか。そして、生徒同士もお互いの理解を深め、友情を育むことができました。このころのコロナにも期待大です。今回このプロジェクトに参加した城北埼玉高校の皆さんからは、「数えればきりが無いほど湖南町の皆さんに優しく接していただき、とても充実した三日間を過ごすことができました。」「民泊でも自分たちのことを尊重していただき、おいしい食事も出していたので遠く離れた場所でも安心感がありました。」「も落ち着きました。」「みなさんがとても温かく接してくれて、楽しく過ごすことができました。ありがとうございました。」等の感想を述べていました。

今年度も、地域の皆様を支えられ、様々な活動に全力で取り組んでいます。六月二十二日(土)には、全麵協そば道初・二段位認定会が行われ、本校の生徒三名と職員二名が、試験を受け、見事全員合格を果たしました。大島そば同好会の皆様、ご指導いただきました。ありがとうございました。合格者は次のとおりです。

【二段位】▽三年 大原 真桜【初段】▽三年 遠藤 由悠、二年 大山 依吹、教頭 菊池 由喜男、教諭 安田 知弘



『湖南高校公式 インスタグラム』はこちら

湖南高校まるわりの近道、学校ホームページは常時更新しています。下記のQRコードからご覧下さい。

猪苗代湖と磐梯山をモチーフにしたこのロゴは、校内の『湖南町のロゴを勝手につくっちゃお』企画で選ばれた作品です。今後、湖南町の諸機関と共有し、町の振興に活用していきたいと思っています。ご賛同頂ける方は、どうぞ湖南高校までご連絡ください。

編集後記